

# H28年度 新人研修プログラム 2年目

## 《 目 的 》

患者の状況が判断でき、個別的看護の展開ができる

## 《 行動目標 》

1. 看護技術、コミュニケーション技術を高められる
2. 安全に配慮したケアが提供できる
3. チームの一員としての役割がとれる(災害時も含む)
4. 看護倫理への認識を深め、受け持ち看護師として看護を展開できる

## 《 注意事項 》

- ※ 各研修会は、筆記用具を持参し時間厳守の上お集まり下さい。  
尚、研修日程はその都度お知らせしませんので各自、勤務等の調整をお願いします。
- ※ 各提出物(A4 ワープロ 表紙無し 10~11 フォント)はコピーをし、コピーを提出して下さい。原本は自分で管理し研修時に持参して下さい。提出物は代表者がまとめて担当の ( F ) に12時まで提出して下さい。
- ※ 参考文献「ベッドサイドの看護倫理事例30:日本看護協会出版会」です。
- ※ 看護協会の研修においては、参加証提出によって出席が認められますので、研修終了後一週間以内に提出して下さい。(別紙参照)
- ※研修は全研修参加をお願いします。体調不良などで欠席となる場合は、担当教育委員まで連絡をして下さい。
- ※研修終了できない場合は次年度に全て再研修となります。

	研修日	事前提出物	テーマ	ねらい	内容	講師	印
1	6/4 (木) 15:00~ 16:20	5/28 (木)	災害看護	地震体験から得た災害時の心得を再認し災害看護の基礎的知識を学ぶ	地震体験で得たもの、自己管理とメンバーとしての働き、避難経路、点滴（末梢・CV）酸素、チューブ類の管理など病院の防災訓練には必ず参加する	清水順一氏	
2	7/23 (木) 15:00~ 16:20	7/16 (木)	日常生活の中の看護倫理 1	看護倫理への認識を深め、患者の立場を尊厳した看護を考えることができる	日常の看護業務の中の倫理について考える	真壁ヒサ子氏 五十嵐都氏	
3	10/14(水)	8/3~ 申し込み	新人のための医療安全	新人がおこしやすいインシデントの傾向を知り、安全な看護を提供するためにリスク感性を高める	医療事故防止の基礎知識の確認 新人が起こしやすい傾向 KYTトレーニング	県看護協会	
4	9/10(木) 15:00~ 16:20	9/3 (木)	フィジカルアセスメント	一般病棟におけるフィジカルアセスメントとその対応を学ぶ	フィジカルアセスメントの実際	教育委員	
5	10/1 (水) 15:00~ 16:20	9/24 (木)	日常生活の中の看護倫理 2	看護倫理 1 参照	GWにて看護倫理を深める	真壁ヒサ子氏 五十嵐都氏	
6	11/10(火)	9/4~ 申し込み	メンバーシップを發揮するために	メンバーシップを發揮するために、個々が組織の一員であることが自覚でき、個々に求められる役割について体験を通して学ぶ	メンバーシップとは求められる役割期待 求められる人間関係能力 GW	県看護協会	
7	11/5(木)	10/29(木)	日常生活の中の看護倫理 3	看護倫理 1 参照	レポートのまとめ方説明	教育委員	
8	1/21(木)	12/3(木)	発表	看護倫理的視点から体験した事例を振り返る			所属長 印
9	6月頃			気管内挿管がわかる	自主的に各病棟の教育担当者へ働きかける	手術室スタッフ	
10	2/25(木) 15:00~ 16:20		プリセプティとの接し方	プリセプティとの接し方がわかる		教育委員	

F 氏名

最終提出日 (                    )      確認印 (                    )